

平成 27 年度西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進協議会
議事概要

■日 時：平成 28 年 3 月 10 日（木）13:30～15:00

■場 所：西播磨県民局 大会議室

■出席者：別紙

■議 題：

(1) 公開要領第 11 条 2 項に基づく議事録に関する委員の指名について

(2) 推進計画に基づいた施策の進捗状況

(3) 総合治水にかかる主な取組みの紹介

①「水防意識社会 再構築ビジョン」及び「避難を促す緊急行動」

②田んぼダム効果検証

③太子町新庁舎の整備 ～雨水貯留タンクの設置～

■配付資料：

資料-1 推進計画に基づいた施策の進捗状況

資料-2 推進計画に基づいた施策の進捗状況（パワーポイント）

資料-3 総合治水にかかる主な取組みの紹介

①「水防意識社会 再構築ビジョン」及び「避難を促す緊急行動」（資料 3-1）

②田んぼダム効果検証（資料 3-2）

③太子町新庁舎の整備 ～雨水貯留タンクの設置～（資料 3-3）

【参考資料】

参考-1 西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱

参考-2 西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進協議会公開要領

参考-3 西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進計画（概要版）

参考-4 平成 27 年度西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進協議会
ワーキング議事概要

●開会

●あいさつ（西播磨県民局 副局長）

●議事（進行は会長）

(1) 公開要領第 11 条 2 項に基づく議事録に関する委員の指名について

（参考資料 2 を用いて会長が説明）

姫路市下水道局 局長に決定。

(2) 推進計画に基づいた施策の進捗状況

（資料 1, 2 を用いて事務局が説明）

(3) 総合治水にかかる主な取組みの紹介

①「水防意識社会 再構築ビジョン」及び「避難を促す緊急行動」

（資料 3-1 を用いて国委員が説明）

②田んぼダム効果検証

（資料 3-2 を用いて光都土地改良センター所長補佐が説明）

県民委員

姫路市では、平成 25 年度から雨水排水計画の見直しをしていますが、田んぼダムは非常に安価で効果のあるものと認識しています。

田んぼダムの取組みは農家の方の協力が必要だと思いますが、田んぼの水位が数センチ程度上がることで稲作に対する影響はあるのでしょうか。

光都土地改良センター 所長補佐

稲が水没すると影響がありますので、せき板は、田植えをして 2~3 週間してから設置して頂いています。

また、営農上、中干し期や稲刈りの前には、水を抜く必要がありますので、営農上支障とならないようにせき板を外されており、具体的には 7 月頃から中干し期の間まで田んぼダムを実施して頂き、中干し期が終わると、稲刈りの前の 9 月末まで設置して頂いています。

県民委員

揖保川では、何ミリの雨が何時間降れば危険な水位になるのでしょうか。

また、その時の流量に対して、田んぼダムやため池の改修による効果はどの程度あるのか算出されていますか。

国委員

揖保川本川の計画としては雨量については 12 時間で約 200 mm、流量は龍野で約 3,400 m³/s の規模を目標として河川改修を進めています。

また、森林整備や田んぼダムを行えば河川改修が不要になるのでは、という話もありますが、もともと、森林や田んぼは保水力を持っています。道路の整備をイメージして頂ければと思いますが、例えばアスファルト舗装の上に雨が降ると、水は浸透しないで、河川にすぐ流出されることとなります。

そのため、河川の改修と併行して、森林の整備や田んぼダムなどの流域対策により保水力を高めて頂ければと思います。

この総合治水推進協議会については、先日、加古川の協議会も出席させて頂きました。

その中で、農家の方の心配として、雨の中でもせき板の取り外しをする必要があるのか、など手間や管理が大変だと聞いています。大雨の中で、田んぼを見に行き水路に流されたという話も聞きますので、安全面も考慮して取組みを進められれば、より良い取組みになるのではと思います。

龍野土木 所長

田んぼダムなどの取組みの揖保川本川への効果は、定量的には示せません。

先ほど 12 時間 200mm の雨量という規模での河川改修という話もありましたが、想定以上の雨が降ることも考えられます。総合治水は、そのような場合に被害軽減効果を発揮するというところをご理解頂ければと思います。

③太子町新庁舎の整備 ～雨水貯留タンクの設置～ (資料 3-3)

(資料 3-3 を用いて太子町まちづくり課 課長が新庁舎整備にかかる雨水貯留タンクの設置等について説明)

会長

主要な取組みということで、3 件の取組みの発表がありましたが、行政の発表が多いと感じました。例えば、当校もそうですが、県下で校庭貯留の模型を作り、各地で総合治水の PR 活動をしていますので、そのような事例を発表する場を設けることも検討して頂けたらと思います。

県民委員

太子町の新庁舎は、庁舎の面積の分、雨水を貯めるわけですよね、庁舎の雨水を貯めるだけとなれば、効果はあるのでしょうか。

太子町まちづくり課 課長

庁舎の前はグラウンドでしたので、降雨時に雨水はグラウンドに溜まって、浸透しながら水路に流出していました。新庁舎が出来ることで水路への流出が早くなり周囲に浸水被害が起きないように設計を行っています。

県民委員

庁舎以外に降った雨を、庁舎で受け持つという考え方はないのですか。

太子町まちづくり課 課長

町全域で雨水計画は策定しており、庁舎で他の雨水を受け持つ考えではありません。

もともと庁舎の場所は水路が小さく、これまでも冠水が多かった場所でしたので、雨水の流出を遅らせるという考え方で整備を行いました。

会長

太子町新庁舎の雨水貯留施設について、整備効果という点でご指摘の部分もありますが、若い人たちへの防災学習や環境学習ということも進められているということで、教育という観点でも非常に大切な役割を担っていると思います。

地域の方々には、長い目で整備効果を見て頂ければと思います。

●あいさつ（龍野土木事務所 所長）

●閉会

H27年度西播磨東部（揖保川流域圏）
 地域総合治水推進協議会
 出席者名簿

(順不同、敬称略)

属性	氏名	主な役職
学識経験者	辻本 剛三	神戸市立工業高等専門学校 教授
国	朝田 将	姫路河川国道事務所 所長
兵庫県	谷渕 勝	西播磨県民局 副局長 (代理出席)
	濱 浩二	中播磨県民センター 姫路土木事務所長 (代理出席)
市町	井上 博晶	姫路市下水道局 局長 (代理出席)
	冨井 俊則	たつの市 総務部 危機管理課 課長 (代理出席)
	清水 忠二	宍粟市 まちづくり推進部 次長 (代理出席)
	栄藤 雅雄	太子町総務部 企画政策課長 (代理出席)
県民	大野 幸一	姫路市連合自治会 会長
	徳永 耕造	たつの市連合自治会 会長
	田路 定廣	宍粟市一宮町曲里自治会 会長
	釣田 孝三	太子町連合自治会 会長

議事録確定署名人

会長： 辻本剛三

委員： 井上博晶